

# この場所で

平成29年度  
優良勤労知的障害者表彰

Shibuya Yuki

Yanbe Naoyuki



Ito Tsutomu

Ebina Nobuhiko



渋谷有希さん(34)  
=南方町山成=  
そばの里 更科  
勤続 15年



山家直幸さん(32)  
=米山町追土地=  
Hミートパッカー  
宮城ミートセンター  
勤続 13年



鮫名伸彦さん(27)  
=中田町下道=  
高田商店  
勤続 8年



伊藤勉さん(25)  
=追町山の内=  
ウジエ  
クリーンサービス  
勤続 7年

**「ま** さか自分が賞を貰えるとは思  
いませんでした」と4人は口を  
そろえた。

平成29年度優良勤労知的障害者表  
彰式(宮城県手をつなぐ育成会主催)  
は5月25日、仙台市の仙台市福祉プ  
ラザで行われ、本市から渋谷有希さ  
ん、山家直幸さん、鮫名伸彦さんと伊  
藤勉さんの4人が表彰された。  
優良勤労知的障害者表彰は、知的  
障がい者の自立と社会参加の促進を  
目的とした同表彰で、市内から一度  
に4人が表彰を受けるのは、初の快  
挙だ。

**洪** 谷さんは、2001年4月追支  
援学校卒業後にそばの里更科  
に就職した。「この間仕事を始めたば  
かりだと思っていたら、15年もたっ  
ていました」と笑みを浮かべる。  
仕事は、食器洗いと接客を担当し  
ている。食器洗いは非常に手際が良  
い。おかみを務める岩間まき子さん  
は「有希ちゃんの仕事の速さと丁寧  
さは職場一。誰も彼女のペースにつ  
いていけないんです」と評する。  
渋谷さんは、昨年最愛の母まき子  
さんを亡くした。時に厳しく、時に優  
しく、よき理解者だったまき子さん。  
親子二人三脚で、うれしいことも、  
辛いことも、共有してきた。シヨッ  
クは大きかったが、すぐに職場復帰  
した。今回の表彰は、お母さんが一  
番喜んでくれると思います。お母さん  
が心配しないよう、しっかりとしなく  
ちゃ」と決意を新たにしました。

**山** 家さんは、ボーク生産係に所  
属。解体された豚の骨を選別、  
計量し箱詰めする作業を担当してい  
る。氏家利彦センター長は「入社当時  
は、豚の流通に使用した容器の洗浄、  
選別を任せていましたが、適性を見  
込み、現在の業務を10年ほど担当し  
てもらっています」と話す。

山家さんは「入社したときは不安  
で仕方ありませんでした。知らない  
人たちの中で、仕事をすることが怖  
かったです。でも、気付いたら不安は  
なくなっていました。今は、仕事を  
ずっとしていきたいと思っています。  
この会社ですつと頑張りたい」  
とにっこり。

幼い頃から野球が好きで、現在は  
楽天イーグルスの大ファン。則本昂  
大投手と茂木栄五郎内野手がお気に  
入りだ。「楽天の試合を見ると、仕事  
を頑張れるんですよ」と微笑んだ。  
**鮫** 名さんは「高校2年の実習で、  
この会社に来ました。この仕事  
なら続けられると思いましたが、  
と静かに語る。主にスクラップ品の  
選別を担当。入社当時は、各種自動販  
売機の解体を担当していた。自動販  
売機の解体は、手作業でないと思  
えない。ピスを全てはずし、金属とプラ  
スチックを種類別に選別するのは、  
手間が掛かる作業で、速い人でも1  
日6台で手一杯。しかし、鮫名さん  
は、1日8台も解体していた。  
「仕事の飲み込みが早く、安心して  
作業を任せられます。また、入社して

1年でフォークリフトの免許を取  
得。今ではうちになくはならない  
存在です」と高田義成専務は太鼓判  
を押す。

**伊** 藤さんは、店舗の窓清掃とごみ  
収集を担当している。車の運転  
が好きで、18歳で普通自動車免許を  
取得。昨年、仕事のために中型免許も  
取得した。

彼は現場仕事だけではなく、チー  
フとして10人のスタッフを取りまと  
めている。毎月、全員の業務ソフトを  
管理し、各店舗に連絡するのも伊藤  
さんの仕事だ。

「伊藤君は、高校で生徒会長を務め  
ていました。人をまとめる力もある  
し、人望も厚い。今年の新入社員が  
『伊藤さんのような社員になりたい』  
と目標にしています。将来的には、  
若い人たちが育成する仕事もしてみ  
たい」と期待しているんですよ」と  
菅原亜希子ディレクター。

「これまで親にたくさん迷惑をか  
けたので、しっかりと仕事をして恩返  
しをしたいです」と伊藤さん。

4人には共通点がある。「集中して  
仕事に取り組み、立てた目標を達成  
しようとする」「感謝の気持ちを忘れ  
ない」。

この気持ちがあるからこそ、どん  
なに辛くても、仕事を投げ出すこと  
なく、続けてきたのだ。  
「誰かの役に立てることは、とて  
も幸せなことです」。4人は、今日も  
いつも通り職場で汗を流している。